

横浜スタジアムで12月18日決勝戦

ダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）は今月から、同社軟式野球部の運営で「ダイワコーポレーション主催ベイサイドカップ2021」を開催する。ベイサイドカップは東京都・神奈川県少年野球チームで行う野球大会で、ダイワコーポの社名を冠しての大会は今回が初めてとなる。

新たに開催・協賛するダイワコーポ主催のベイサイドカップは15年から続き、今年で第7回を迎える東京・神奈川の少年野球チーム66チームが参加する学童野球大会。決勝



ベイサイドカップのロゴ

の舞台として横浜スタジアムを同社が用意し、12月18日に決勝戦を予定する。

新型コロナウイルス

の影響でスポーツ大会の中止が相次ぐ中、野球部員から「昨年は物流業、エッセンシャルワーカーとして世の中に貢献でき、自分たちの仕事に誇りを持てた。今度は野球部として地域に貢献したい」との声が挙がり、同社の物流拠点と同じ東京・神奈川で開催していたベイサイドカップに着目。同社として大会を開催できないか、会社に提案して実現した。

すでに企業看板を掲出していることもあり、横浜スタジアムでの決勝戦開催が決定した。大会運営の全てをダイワコーポ野球部が行う。

同社は物流の仕事と団体行動をする部活動の親和性に注目し、7年前から体育会系学生の積極採用を行っており、インターハイ出場者や甲子園出場者など各スポーツで実績のある社員が多数在籍。「社会人になっても好きなスポーツを続けてほしい」との想いから、職場の活性化並びに福利厚生の一環、社内部活動第一弾として、17年に発足した。